

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

FTP転送のしかたを説明するためのガイドです。

FTP機能でできること

有線LANや無線LANなどでカメラをネットワークに接続し、静止画や動画をFTPサーバーに転送することができます。

[FTP転送機能について](#)

ネットワークに接続する

[有線LAN（USB-LAN）でネットワークに接続する](#)

[無線LANでネットワークに接続する](#)

[スマートフォンでネットワークに接続する（USBテザリング）](#)

FTPサーバーに接続する

[FTPサーバーを登録する](#)

[FTPサーバーに接続する](#)

画像を転送する

[画像転送について](#)

[画像を一括で転送する](#)

[画像を自動転送する](#)

[再生画面から画像を一枚転送する](#)

[転送結果を確認する](#)

設定する

[静止画の転送対象ファイルを設定する](#)

[プロキシー動画の転送対象ファイルを設定する](#)

[FTPパワーセーブ機能を使う](#)

[カメラのルート証明書を更新する](#)

[ネットワーク設定リセット](#)

[FTP設定の保存/読込](#)

[トラブルシューティング](#)

B-F46-100-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

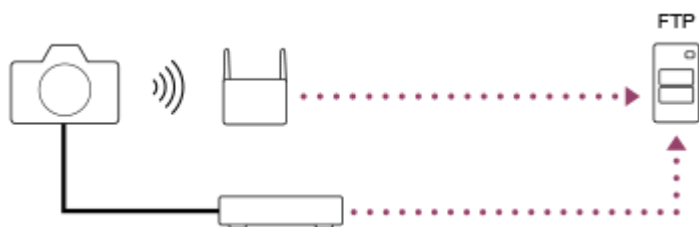
FTP転送機能について

有線LANや無線LANなどでカメラをネットワークに接続し、静止画や動画をFTPサーバーに転送することができます。

ネットワークの接続設定とFTPサーバーの設定を個別に行うことで、撮影環境やデータ転送環境に合わせて、以下のような転送方法を柔軟に切り換えることができます。

- 静止画/動画、プロテクト画像や未転送の画像などの転送対象画像を絞り込んで一括で転送
- 静止画/動画を撮影しながら自動で転送
- 再生画像を1つずつ転送

また、静止画/動画の転送対象ファイルを設定したり、FTP機能の設定を保存・読み込んだりすることができます。



ご注意

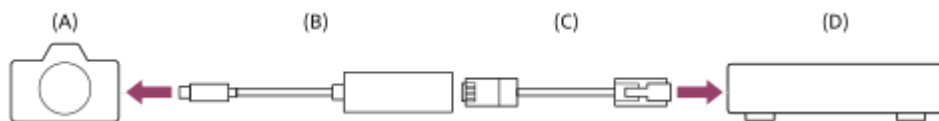
- 本書では、LAN接続を中継する無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを、「アクセスポイント」と表記しています。
- FTP転送機能を使うには、FTPサーバーに関する基本的な知識が必要です。
- 本書では、ネットワークやFTPサーバーの環境が整っていることを前提に説明しています。これらの環境を整える方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。
- カメラの操作については、カメラ本体のヘルプガイドをご覧ください。
- 紛失や盗難などによってカメラに登録されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本機は、セキュリティ設定がWPA3-SAE、WPA2-PSK、または、セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続することが可能です。セキュアな無線LAN接続を実現するために、セキュリティ設定がWPA3またはWPA2のアクセスポイントを使用することを、強く推奨します。
- セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続すると、ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、脆弱性への攻撃を受ける可能性があります。特別な理由がある場合以外は、セキュリティ設定なしでの使用は推奨しません。
- 無線LANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さなかった場合、あるいは無線LANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

TP1000885423

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

有線LAN（USB-LAN）でネットワークに接続する

市販のUSB-LAN変換アダプターを使ってカメラをネットワークに接続するための設定をします。



(A) カメラ

- USB Type-C端子の位置はカメラのヘルプガイドをご覧ください。

(B) USB-LAN変換アダプター（別売）

- USB-LAN変換アダプターはType-C型をご使用ください。
ギガビットイーサネット対応アダプターのご使用をおすすめします。ただし、すべての製品の動作を保証するものではありません。

(C) LANケーブル（別売）

- LANケーブルは、シールド性能の高いカテゴリ5e以上のSTP（Shielded Twisted Pair）ケーブルをご使用ください。

(D) ルーター（別売）

1 MENU → （ネットワーク） → [有線LAN] → 有線LAN接続の設定を行う。

LAN IPアドレス設定：有線LANのIPアドレス設定を自動で行うか、手動で行うかを設定する。（[オート] / [マニュアル]）

- [**LAN IPアドレス設定**] を [マニュアル] に設定した場合は、固定アドレスやネットワークの環境に合わせた情報を入力してください。（[IPアドレス] / [サブネットマスク] / [デフォルトゲートウェイ] / [プライマリDNSサーバー] / [セカンダリーDNSサーバー]）

有線LAN情報表示：本機の有線LANのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示する。

2 MENU → （ネットワーク） → [USB-LAN/テザリング] → [USB-LAN接続] を選ぶ。

ヒント

- キーボードの入力方法については、カメラ本体のヘルプガイドをご覧ください。

TP1000885422

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

無線LANでネットワークに接続する

カメラを無線LANでネットワークに接続するための設定をします。お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。



1 MENU → 地球儀 (ネットワーク) → [Wi-Fi] → [Wi-Fi接続] → [入] を選び、カメラを無線アクセスポイントに接続する。

- 接続可能なアクセスポイントを検索します。接続可能なアクセスポイントが見つからないときは、[アクセスポイント簡単登録] または [アクセスポイント手動登録] で設定を行ってください。

メニュー項目の詳細

アクセスポイント簡単登録：

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) 対応のアクセスポイントをお使いの場合は、WPSプッシュボタンを押してアクセスポイントを登録する。

アクセスポイント手動登録：

アクセスポイントのSSID、セキュリティ方式、パスワードなどを手動で登録する。

Wi-Fi情報表示：

カメラのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示する。

ヒント

- 各項目について詳しくは、カメラ本体のヘルプガイドをご覧ください。

ご注意

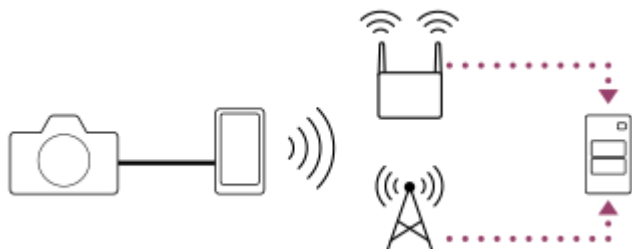
- [セキュリティ方式] は、[WPA3] / [WPA2] / [なし] から選択できます。セキュリティの観点から、暗号化されるWPA3/WPA2の利用を推奨します。セキュアな無線LAN接続を実現するために、セキュリティ設定がWPA3またはWPA2のアクセスポイントを使用することを、強く推奨します。
- セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続すると、ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、脆弱性への攻撃を受ける可能性があります。特別な理由がある場合以外は、セキュリティ設定なしでの使用は推奨しません。
- [アクセスポイント手動登録] でアクセスポイントを設定するとき、入力可能な文字数/文字の種類は以下のとおりです。
 - － SSID：文字数は最大32文字。文字の種類はアルファベット（大文字/小文字）、数字、記号。
 - － パスワード：文字数は8文字以上64文字以下。文字の種類はアルファベット（大文字/小文字）、数字、記号。

TP1000885421

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

スマートフォンでネットワークに接続する（USBテザリング）

カメラとスマートフォンをUSBケーブルで接続し、スマートフォンのWi-Fi機能やモバイル回線を使ってネットワークに接続します。



事前準備

- MENU → 地球儀（ネットワーク）→ [USB-LAN/テザリング] → [テザリング接続] を選ぶ。
 - カメラのモニターに「接続準備が完了しました USBテザリング機器を接続してください」というメッセージが表示されます。
- カメラのUSB Type-C端子とスマートフォンをUSBケーブルで接続する。
 - スマートフォンに接続許可を確認するメッセージが表示されたら、カメラとの接続を許可してください。

ネットワークに接続するには

スマートフォンのWi-Fi機能を使用する場合（Androidのみ）

スマートフォン側でWi-Fi機能を有効にして、ネットワークに接続してください。カメラ側でのWi-Fi設定は不要です。

モバイル回線を使用する場合

iPhone：設定内のインターネット共有機能を有効にする。

Android：設定内のネットワーク/インターネットのメニューでUSBテザリングを有効にする。

ヒント

- USB PD（USB Power Delivery）規格に対応したスマートフォンとUSBケーブルのご使用をおすすめします。ただし、すべての製品の動作を保証するものではありません。

ご注意

- 通信キャリアとの契約内容によっては、モバイル回線によるテザリングができない場合や、意図せず通信費がかかる場合があります。
- スマートフォンの設定方法については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

FTPサーバーを登録する

FTP転送に使用するFTPサーバーを本機に登録します。サーバーは9つまで登録できます。ここでは「サーバー1」に登録する方法を説明します。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [サーバー設定] → [サーバー1] を選ぶ。
- 2 各設定項目名を選んで、サーバー1の設定内容を入力する。
 - キーボードで入力して「OK」を選択します。キーボードの入力方法については、カメラ本体のヘルプガイドをご覧ください。

メニュー項目の詳細

表示名称：

登録するFTPサーバーの表示名を入力する。

入力可能な文字数は最大8文字。文字の種類はアルファベット（大文字、小文字）、数字、記号。

転送先設定：

FTPサーバーの以下の項目を設定する。

- ホスト名：サーバーのホスト名またはIPアドレス
入力可能な文字数は最大255文字。文字の種類はアルファベット（大文字、小文字）、数字、記号（- . のみ）。（記号は先頭文字に使用できません。また、記号を連続して使用することはできません。）
- セキュアプロトコル：ルート証明書を利用して接続するサーバーを確認することで、FTP転送をセキュアに行うかどうかの設定（FTPES（FTPS））
- ルート証明書エラー：通常は「接続しない」に設定することをおすすめします。証明書エラーが表示された場合はルート証明書を更新して、正しい認証による接続を行ってください。
- ポート番号：FTPサーバーのポート番号
入力可能な文字数は最大5文字。文字の種類は数字のみで、0から65535の範囲。

フォルダー設定：

FTPサーバー上の転送先フォルダーを設定する。

- フォルダー指定：転送先フォルダーを設定する。
例えば、転送先フォルダー名に「aaa」を指定した場合、jpegファイルはC:\interpub\ftproot\aaa\DSC00001.jpgのように転送される。
フォルダーを指定しない場合、C:\interpub\ftproot\DSC00001.jpgのようにユーザーフォルダーの直下に転送される。
入力可能な文字数は最大128文字。文字の種類はアルファベット（大文字、小文字）、数字、記号（! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [] _ { } スペース）。
- フォルダー階層：
 - － [標準]：[フォルダー指定]で設定したフォルダーに転送される。
 - － [カメラと同じ]：カメラ内のメモリーカードと同じフォルダー構成になる。
カメラにメモリーカードスロットが2つある場合、転送先ではスロット1が「A」、スロット2が「B」という名前のフォルダーになる。
例：C:\interpub\ftproot\A\DCIM\100MSDCF\DSC00001.jpg
- 同名ファイル：転送先に同名のファイルがあるときに上書きするかどうかを設定する。「上書きしない」に設定し、転送先に同名のファイルがある場合は、ファイル名の最後にアンダーバーと数字が追加される（例：DSC00001_1.jpg）。

ユーザー設定：

FTPサーバーにログインするための［ユーザー名］と［パスワード］を入力する。

入力可能な文字数は最大64文字。文字の種類はアルファベット（大文字、小文字）、数字、記号（! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | } ~ スペース）。

転送に使用するサーバーを選ぶには

MENU → （ネットワーク） → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [サーバー設定] → 希望のサーバーを選ぶ。

ご注意

- [ユーザー設定] のパスワードを入力するときにマスクを解除すると、第三者にパスワードが見られてしまう危険があります。マスクを解除する場合は、周りに誰もいないことを確認してください。
- [セキュアプロトコル] は [入] に設定することを推奨します。[切] の場合は、FTPサーバーとの通信内容が傍受されたり、意図しないFTPサーバーに接続することで、ユーザー名、パスワード、ファイルのデータが漏洩する可能性があります。
- [ルート証明書エラー] で [接続する] を選んだ場合は、[FTP転送機能] 画面に [接続済み(ルート証明書エラー)] が表示されます。また、カメラに有効なルート証明書が読み込まれていない場合でも強制的に接続が行われるため、意図しないFTPサーバーに接続されることがあります。
- アクティブモードのFTP転送には対応していません。

FTPES（FTPS）機能について

FTPES（FTPS）機能は、安全なファイル転送を実現するために様々な暗号化アルゴリズムをサポートしています。幅広いサーバーとの互換性を確保するため、複数の暗号化アルゴリズムに対応していますが、その中には現在のセキュリティベストプラクティスに適合しないものも含まれています。詳しくは以下のURLをご覧ください。

https://helpguide.sony.net/di/sftp/v1/h_zz/index.html

関連項目

- [カメラのルート証明書を更新する](#)

TP1000885420

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

FTPサーバーに接続する

選択中のFTPサーバーに接続するには、以下の設定を行ってください。

カメラをネットワークに接続する

有線LAN(USB-LAN)で接続するには

「[有線LAN \(USB-LAN\) でネットワークに接続する](#)」をご覧ください。

Wi-Fiで接続するには

「[無線LANでネットワークに接続する](#)」をご覧ください。

USBテザリングで接続するには

「[スマートフォンでネットワークに接続する \(USBテザリング\)](#)」をご覧ください。

FTP転送機能を有効にする

MENU →  (ネットワーク) → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [FTP機能] → [入] を選ぶ。

接続状態について

- 接続が成功すると撮影待機画面または再生画面に**FTP** (FTP接続アイコン) が表示されます。
- 接続に失敗したときは、**FTP** (FTP接続エラーアイコン) が表示されます。MENU →  (ネットワーク) → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [FTP接続エラー情報表示] で表示されるエラー詳細を確認してください。

接続エラー情報を表示する

[接続エラー] 画面が表示された時はネットワーク接続が切断されています。アクセスポイントとの接続状態、FTPサーバーやカメラの設定内容などを確認してください。MENU →  (ネットワーク) → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [FTP接続エラー情報表示] で接続エラー画面を再表示することができます。

ヒント

- 無線LANによるFTP接続を行う場合、FTPパワーセーブモードになったときなどカメラが電波を出していない場合は、Wi-Fi未接続状態になります。
- 無線LANで接続する場合、登録したアクセスポイントが近くにあることを確かめください。
- [機内モード] が [入] のときでも、有線LAN (USB-LAN) であれば接続することができます。

ご注意

- 有線LAN (USB-LAN) やUSBテザリングでの接続時、カメラのWi-Fi機能はご使用できません。
- 接続エラーになっているときは以下を確認してください。
 - 有線LANケーブル/USB-LAN変換アダプター/USBケーブルが抜けていないか確認し、端子を正しく差し込んでください。
 - 無線LAN接続で登録したアクセスポイントが見つからない場合は、登録したアクセスポイントに近づいてください。

有線LAN (USB-LAN) やUSBテザリングでの接続時、ケーブルやアダプターが抜けたりカメラの電源を切ったりした場合には、MENU →  (ネットワーク) → [USB-LAN/テザリング] → [USB-LAN接続] または [テザリング接続] を選び、FTPサーバーと接続する必要があります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

画像転送について

本機で撮影した画像は、登録済みのFTPサーバーに必要なファイルだけを選んで転送したり、撮影しながら自動的に転送したりすることができます。FTPサーバーへの接続方法と転送先サーバーをそれぞれ選択できるので、撮影・転送時のネットワーク環境などに応じてすばやく設定を変更できます。

本機で行える転送の種類について

一括転送、一枚転送は〔再生メディア選択〕で設定されているスロットが対象になります。自動転送は〔 記録メディア〕 / 〔 記録メディア〕で設定されているスロットが対象になります（お買い上げ時の設定）。

一括転送：

プロテクト画像や未転送の画像など、転送対象を絞り込んで一括で転送します。

自動転送：

撮影しながら、自動で画像を転送します。

一枚転送：

再生中の画像を一枚だけ転送します。

転送できる画像について

本機で転送できる画像は、静止画ではJPEG、HEIF、RAW形式、動画ではXAVC HS、XAVC S、XAVC S-I方式のファイルです。

転送中にできること

- 転送中も静止画撮影や動画撮影、再生を行うことができます。
- 転送中画面でシャッターボタンを半押しすると、撮影画面に移ります。
- 転送中画面で〔閉じる〕を選択すると、再生画面が表示されます。
- 転送中に、撮影画面や再生画面でMENUの〔FTP転送機能〕を選ぶか〔FTP転送〕機能を割り当てたカスタムキーを押すと、転送中画面に戻ることができます。
- 画像転送中に電源を切ることができます。転送中に電源を切った場合は、次に電源を入れたときに転送が再開されます。

FTP転送を中止するには

転送中画面で〔転送中止〕を選びます。

ご注意

- FTP転送機能を使うには、FTPサーバーに関する基本的な知識が必要です。
- 本書では、ネットワークやFTPサーバーの環境が整っていることを前提に説明しています。これらの環境を整える方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。
- 画像転送中は、メモリーカードを取り出さないでください。
- SD、SDHC、SDXCカードのメディアの書き込み禁止スイッチや誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている場合は、画像を転送できません。
- 以下のとき、転送予定はキャンセルされます。
 - － 転送予定画像の入ったメモリーカードを取り出したとき
 - － 本機からバッテリーを取り出したとき
 - － パソコンとUSB接続してマストレージ接続になったとき

- 「接続エラー」画面が表示された時はネットワーク接続が切断されています。アクセスポイントとの接続状態、FTP サーバーやカメラの設定内容などを確認してください。MENU → （ネットワーク）→ 「FTP転送」→ 「FTP転送機能」→ 「FTP接続エラー情報表示」で接続エラー画面を再表示することができます。
- ネットワークの切断などにより画像の転送が中断された場合、再接続時に転送を再開します。再開後に転送された画像は、「フォルダー設定」→ 「同名ファイル」が「上書きする」に設定されていても、ファイル名の末尾に「_数字」が付加されます。

TP1000885417

B-F46-100-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

画像を一括で転送する

再生画面で静止画や動画、プロテクト画像や未転送画像など、転送対象となる範囲を指定して、必要な画像だけをまとめて転送できます。あらかじめMENU →  (ネットワーク) → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [FTP機能] を[入]に設定してください。

1 MENU →  (再生) → [再生対象] → [再生メディア選択] → 希望のスロットを選ぶ。

2 MENU →  (ネットワーク) → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [FTP転送] を選ぶ。

3 FTP転送する対象を指定する。

- 対象範囲：[この日付] (日付ビューまたは動画ビューの場合) / [このフォルダー] (フォルダービューの場合) / [このメディア] から選ぶ。
 - 静止画/動画：[全て]、[静止画のみ]、[動画のみ] から選ぶ。(日付ビューのときのみ有効)
 - 対象画像(レーティング)：[★] ~ [☆☆]、[★OFF]
 - 対象動画()：[全て]、[Shot Mark動画のみ]
 - 対象画像(プロテクト)：[全て] または [プロテクト画像のみ] から選ぶ。
 - 対象動画(クリップフラグ)*：[OK]、[KP]、[NG]、[OFF]
- * 本体ソフトウェアVer.2.00以降
- 転送状態：[全て]、[未転送画像のみ] * または [転送失敗画像のみ] から選ぶ。
- * [未転送画像のみ] には、転送に失敗した画像も含まれます。

4 [OK] を選び、コントロールホイールの中央を押す。

5 [確認] を選び、中央を押す。

画像転送が開始されます。

画像の転送状態

再生画面で画像の転送状態を確認できます。

 :
FTP転送中

 :
FTP転送済み

 :
FTP転送失敗

ご注意

- 画像の転送中は、次に転送する画像を選ぶことはできません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

画像を自動転送する

静止画や動画を撮影しながら、撮影した画像を自動的にFTPサーバーに転送できます。動画の場合は、撮影時や再生時にショットマークを付けた動画だけを自動転送することもできます。あらかじめMENU → （ネットワーク） → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [FTP機能] を[入]に設定してください。

1 MENU → （ネットワーク） → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [FTP自動転送] → [入] を選ぶ。

2 MENU → （ネットワーク） → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [FTP自動転送対象] を選ぶ。

3 自動転送する対象を指定する。

- 静止画：撮影したすべての静止画が自動的に転送される。
- 動画：[全て] または [Shot Markのみ] から選ぶ。
 - 全て：撮影したすべての動画が自動的に転送される。
 - Shot Markのみ：撮影時または再生時にショットマークを付けた動画が自動的に転送される。

ヒント

- ショットマークの付けかたについて詳しくは、カメラ本体のヘルプガイドをご覧ください。

ご注意

- [FTP自動転送] が [入] のとき、なんらかの原因でFTPサーバーに接続できなかった場合でも、FTPサーバーへの接続が復帰すれば転送対象の画像は自動的に転送されます。

TP1000885430

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

再生画面から画像を一枚転送する

希望のカスタムキーに「FTP転送(この画像)」を割り当てておくと、再生画面でキーを押すだけで画像をFTPサーバーに転送することができます。あらかじめMENU →  (ネットワーク) → 「FTP転送」 → 「FTP転送機能」 → 「FTP機能」を「入」に設定してください。

- 1 MENU →  (セットアップ) → 「操作カスタマイズ」 → [ カスタムキー設定] → 希望のキーに「FTP転送(この画像)」の機能を設定する。
- 2 転送したい画像を表示して、「FTP転送(この画像)」を割り当てたキーを押す。

ヒント

- 先に転送中の画像がある場合は、その転送が完了してから「FTP転送(この画像)」による画像の転送が開始します。

ご注意

- 以下の画像は転送できません。
 - グループ表示されている画像
 - 管理ファイルに未登録の画像

TP1000885384

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

転送結果を確認する

選択したスロット内でFTP転送された静止画や動画の転送結果を確認できます。電源を切る前に、転送が失敗していないか確認することをおすすめします。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [転送結果表示] → 希望のスロットを選ぶ。

転送結果が表示される。

表示される項目

転送成功画像数：

FTP転送が成功したファイルの数

転送失敗画像数：

FTP転送が失敗したファイルの数

転送結果の情報を削除するには

[転送結果表示] の画面で [リセット] を選ぶ。

- 選択中のスロットの転送履歴がすべて削除されます。

TP1000885367

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

静止画の転送対象ファイルを設定する

RAW+JPEG、またはRAW+HEIFで撮影した静止画をFTPサーバーに転送するときの、転送対象とするファイル形式を選択します。

- ① MENU →  (ネットワーク) → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [RAW+J/H転送対象] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

JPEGとHEIF :

[ ファイル形式] を [RAW+JPEG] にして撮影した画像の場合はJPEGを、[RAW+HEIF] にして撮影した画像の場合はHEIFをFTP転送する。

RAW :

RAWのみFTP転送する。

RAW+JとRAW+H :

RAWとJPEG、あるいはRAWとHEIFをFTP転送する。

ヒント

- [RAW+JとRAW+H] に設定してFTP転送した場合、[転送結果表示] 画面ではRAW画像とJPEG画像またはHEIF画像はそれぞれ1枚として数えられます。

ご注意

- [RAW+J/H転送対象] の設定は [ ファイル形式] を [RAW+JPEG] あるいは [RAW+HEIF] にして撮影した画像のみに適用されます。

TP1000885349

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

プロキシ動画の転送対象ファイルを設定する

動画をFTPに転送するときに、低ビットレートのプロキシ動画と高ビットレートのオリジナル動画のどちらを転送するかを設定します。

- 1 **MENU** →  (ネットワーク) → **[FTP転送]** → **[FTP転送機能]** → **[Px 転送対象]** → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

プロキシのみ：

プロキシ動画のみ転送する。

オリジナルのみ：

オリジナル動画のみ転送する。

プロキシ+オリジナル：

プロキシ動画とオリジナル動画を転送する。

ヒント

- [プロキシ+オリジナル] に設定してFTP転送した場合、[転送結果表示] 画面ではオリジナル動画とプロキシ動画はそれぞれ1ファイルとして数えられます。
- プロキシ動画には、記録方式と記録設定を設定できます。詳しくは、カメラ本体のヘルプガイドをご覧ください。

TP1000885348

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

FTPパワーセーブ機能を使う

FTP転送を行わないときにネットワーク接続を切断し、バッテリーの消耗を防ぐことができます。

- ① MENU →  (ネットワーク) → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [FTPパワーセーブ] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
FTP転送時のみネットワークに接続する。一定時間FTP転送を行わないと、自動的にネットワーク接続を切断する。

切：
常にネットワークに接続する。

ヒント

- FTPパワーセーブモードのとき、以下の操作を行うとネットワークに再接続してFTPパワーセーブモードが解除されます。
 - －使用するFTPサーバーの設定を変更したとき
 - －有線LAN/無線LAN接続を切り換えたとき
 - －LAN接続の設定を変更したとき
 - －[FTP転送] で画像転送を行ったとき
 - －[FTP自動転送] が実行されたとき
 - －[FTP機能] を[切] にしたとき

TP1000885347

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

カメラのルート証明書を更新する

【セキュアプロトコル】を【入】に設定してFTP転送する場合は、FTPサーバーを検証するためのルート証明書が必要です。ルート証明書はカメラ内に保存され、更新することもできます。ルート証明書を更新するには、メモリーカードに証明書を保存してから本機で読み込みます。

1 ルート証明書をメモリーカードに書き込む。

- 証明書はPEM形式で、メモリーカードのルートディレクトリに「cacert.pem」のファイル名で書き込んでください。

2 ルート証明書が書き込まれたメモリーカードをカメラのスロット1に入れる。

3 MENU → (ネットワーク) → 【ネットワークオプション】 → 【ルート証明書の読み込み】 → 【FTP機能】 → 【確認】を選ぶ。

- メモリーカードに保存してあるルート証明書ファイルをカメラが読み込み、カメラ内のルート証明書を更新します。

ご注意

- 読み込み中はメモリーカードを取り出さないでください。
- ネットワーク設定をリセットすると、カメラのルート証明書は初期化されます。
- 読み込めるルート証明書のサイズはひとつの証明書につき最大1MBです。

TP1000885345

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

ネットワーク設定リセット

ネットワークに関する設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- 1 **MENU** →  (ネットワーク) → **【ネットワークオプション】** → **【ネットワーク設定リセット】** → **【実行】**を選ぶ。

TP1000885344

B-F46-100-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

FTP設定の保存/読込

FTP転送機能の設定をメモリーカードに保存したり、保存した設定を読み込んだりすることができます。同じ型名の複数のカメラをFTPサーバーに接続するときに便利です。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [FTP転送] → [FTP転送機能] → [FTP設定の保存/読込] → 希望の項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

読み込み：

メモリーカードからFTP転送機能の設定ファイルを読み込んで本機に反映する。
読み込みたいファイルを選択し、[確認]を選びます。ファイルを保存した際に設定したパスワードを入力して[確認]を選ぶと、カメラが再起動し設定が反映されます。

保存：

現在のFTP転送機能の設定をメモリーカードに保存する。
[新規保存]を選び、ファイル名を入力して[保存]を選びます。[パスワード]を設定して[確認]を選ぶと、設定が保存されます。

削除：

メモリーカードに保存されたFTP転送機能の設定ファイルを削除する。

ヒント

- [FTP転送機能] 内のすべての設定が保存/読み込みの対象です。

ご注意

- ひとつのメモリーカードに10個まで設定を保存できます。設定ファイルが10個保存されている場合は新規保存を行えません。[削除]で既存の設定ファイルを削除するか、既存の設定ファイルに上書きで保存してください。
- スロット1のメモリーカードが保存/読み込みの対象になります。保存先や読み込み先のスロットを変更することはできません。
- 型名が異なるカメラの設定を読み込むことはできません。
- 型名が同じカメラでも、本体ソフトウェアのバージョンが異なる場合は設定を読み込めないことがあります。
- FTP転送機能の設定を保存する際は、セキュリティ上の観点からパスワードを設定することを推奨します。[パスワード]には、英数字/記号で英字と数字の両方を含む16文字以上32文字以下の文字列を設定してください。
- [読み込み]と[保存]でパスワードを入力するときにマスクを解除すると、第三者にパスワードが見られてしまう危険があります。マスクを解除する場合は、周りに誰もいないことを確認してください。

TP1000885343

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

トラブルシューティング

エラーメッセージが表示されたときは、以下の原因と解決方法を確認してください。下記の方法で解決しない場合は、一度【FTP機能】を【切】に変更してから、再度【入】にしてください。

IPアドレスの取得に失敗しました

- DHCPサーバーがフリーズまたはダウンしています。DHCPサーバーを再起動してください。
有線LANの場合: ネットワーク上のDHCPサーバーを再起動する。(ネットワークの管理者にお問い合わせください。)
- Wi-Fiの場合: お使いの無線LANアクセスポイントのDHCPサーバー機能が有効になっていることを確認するか、アクセスポイントを再起動する。(ネットワークの管理者にお問い合わせください。)

FTPサーバーにフォルダーの作成ができませんでした

- FTPサーバーのアクセス権の設定で書き込み権限が与えられていません。FTPサーバーの設定を変更してください。(FTPサーバーの管理者にお問い合わせください。)
- 指定したフォルダー名に、FTPサーバーが動作しているOSで、使用できない文字が含まれています。カメラに登録したFTPサーバーの設定を確認し、【フォルダー設定】の【フォルダー指定】に入力した文字を変更してください。

FTPサーバーとの接続に失敗しました

- FTPサーバー設定の内容を確認してください。
- FTPサーバー名(ホスト名)の登録に誤りがあります。カメラのFTPサーバー設定で、【転送先設定】の【ホスト名】を修正してください。
- FTPサーバーがフリーズまたはダウンしています。FTPサーバーを再起動してください。(FTPサーバーの管理者にお問い合わせください。)

FTPサーバーに転送できません

- FTPサーバーのディスク容量がいっぱいです。FTPサーバーに保存されているデータを削除してください。(FTPサーバーの管理者にお問い合わせください。)
- 転送中にFTPサーバーのアクセス権の設定が変更されたなどの理由で、書き込み権限が与えられていません。FTPサーバーの設定を変更してください。(FTPサーバーの管理者にお問い合わせください。)

IPアドレスの取得に失敗しました DNSサーバー設定か、転送先設定を確認してください

- FTPサーバー名(ホスト名)の登録に誤りがあります。カメラのFTPサーバー設定で、【転送先設定】の【ホスト名】を修正してください。
- カメラのLAN接続設定でIPアドレスをマニュアル設定した場合に、DNSサーバーのIPアドレスに誤りがあります。カメラの【**LAN** IPアドレス設定】を【マニュアル】にして、DNSサーバーのIPアドレスを入力し直してください。
- カメラのLAN接続設定で【**LAN** IPアドレス設定】を【オート】にしている場合に、DNSサーバーの情報が通知されていません。ネットワーク上にあるDHCPサーバーを探して、DNSサーバー通知設定を修正してください。(ネットワークの管理者にお問い合わせください。)
- DNSサーバーがフリーズまたはダウンしています。ネットワーク上のDNSサーバーを再起動してください。(ネットワークの管理者にお問い合わせください。)

TP1000885342

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX3A

おすすめのページ

- **FTP機能でできること**

有線LANや無線LANなどでカメラをネットワークに接続し、静止画や動画をFTPサーバーに転送することができます。

TP1000885340

B-F46-100-02(1) Copyright 2025 Sony Corporation